

## 嬉野医療センターを受診された患者さまへ

### 研究情報公開について

通常、臨床研究を実施する際には、文章もしくは口頭で説明・同意を行い実施します。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いた研究については、国が定めた指針に基づき「対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得る必要はありません」が、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要です。

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用、または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究課題名	トラクションテーブル位での患側足部に皮膚保護材を使用した MDRPU 予防の取り組み
研究責任者（所属名）	森永智子・土井千佳・大浦咲季・山下達矢（手術室）
本研究の目的	大腿骨頸部骨折に対しトラクションテーブル位での手術は昨年 93 件であり、ほとんどの患者が後期高齢者である。トラクションテーブル位は整復のために下肢を牽引し、体位固定は医師が行うことがほとんどである。昨年手術件数のうち、患側足部にはほぼ皮膚発赤や圧痕が生じている患者が多く、足部の皮膚びらんが生じた事例が 1 例あった。患側足部には摩擦やずれにより圧痕が生じるため、予防として足部にストッキングやアクションパットで皮膚保護を行っているが、皮膚損傷のリスクが高いと考える。今回、褥瘡やスキンテア、MDRPU の予防のためトラクションテーブル位の患側足部に対して皮膚保護材（エスアイエイド）を使用することで皮膚損傷のリスクを減少させたいと考える。足部の保護をストッキングとアクションパットで保護をする現在の方法と、エスアイエイドとストッキングとアクションパットで保護をする方法での皮膚状態の変化を観察し効果を明らかにする。
調査データの該当期間	2021 年 6 月 1 日～2021 年 8 月 31 日まで
研究の方法 (使用する資料等)	対象：大腿骨頸部骨折に対しトラクションテーブル位で手術を受ける患者 場所：手術室 患者情報、皮膚状態の観察項目と一覧表に記載する 1) 患者情報について (1) 年齢・性別・術式・手術時間 (2) 栄養状態 (TP・Alb・Hgb) (3) BMI (4) 皮膚状態 (乾燥・ティッシュペーパー様皮膚・皮下出血斑・浮腫) (5) ステロイド薬使用の有無 (6) 抗凝固薬使用の有無 (7) 認知機能の低下の有無 2) 皮膚状態について (1) 下肢の固定前に、浮腫の有無の観察を行う (2) 手術終了後、仰臥位になった直後と退室前に反応性充血の有無・発赤の有無・

	<p>発赤の大きさ（メジャーで縦×横 cm で測定する）・圧迫痕の有無を観察する</p> <p>(3) 両下肢にストッキネットのサイズ（3号）と長さ（50cm）を下腿部～足趾まで覆うように装着する</p> <p>(4) エスアイエイドの貼付→ストッキネットの装着の順序とし、医師にトラクションテーブル位の器具を固定してもらうように依頼する。</p>
個人情報の取り扱い	<p>利用する情報から、氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除した状態で取り扱われます。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は一切利用しません。</p>
本研究の資金源 （利益相反）	<p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
お問い合わせ先	<p>電話：0954-43-1120（代表）</p> <p>担当者：管理課長</p>
備考	